

石油小形給湯機

取扱説明書(保証書付)

製品名

CBX-P474F
CBX-P4704E

はじめに

この取扱説明書の見かた…………… 2
製品名の確認のしかた…………… 2
特に注意していただきたいこと… 3

ご使用前に

使用前の準備…………… 8
各部のなまえとはたらき(機器本体)… 10
各部のなまえとはたらき(リモコン)… 11
 スイッチ部…………… 11
 表示画面…………… 12
時計を合わせる…………… 13
時計を表示させる…………… 14

お湯・シャワー

お湯を出す…………… 15
お湯の温度を調節する…………… 16

お風呂

お風呂にお湯はりをする
 <お湯はりブザー>…………… 18
お湯はり湯量を調節する…………… 20

その他の機能

リモコン操作音を消す(鳴らす)… 22
表示の節電の設定を変更する… 23

必要なとき

凍結による破損を予防する………… 24
長期間使用しないとき
 (水抜きのみ)…………… 26
日常の点検・お手入れのしかた… 28
定期点検(有料)…………… 31
部品交換のしかた…………… 31
法定点検について…………… 32

困ったとき

故障・異常かな?と思ったら… 34
リモコンに数字が点滅しているとき
 <故障表示>…………… 38

ご参考

アフターサービスについて………… 40
主な仕様…………… 41
設定範囲と初期設定…………… 42
据え付け…………… 43

無料修理保証書

裏表紙

SEC804G



この取扱説明書の見かた

このたびは弊社製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、別売品の取扱説明書がある場合は、必ずそちらも併せてお読みください。
- 保証書(裏表紙)は必ず設置日・販売店名などの記入を確かめてください。
- この取扱説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。

絵表示の説明

- 》**しくみ** リモコンや石油小形給湯機のしくみ
- ★**ヒント** 使いかたのヒント
- ! **注意** ご注意ください
- ▶ **参照** 参照先 または 参照ページ

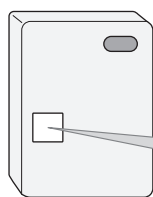
文中の(P○)の数字は参照ページを表します

説明中のリモコン表示画面は一例です

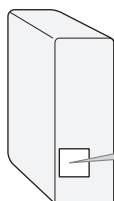
実際の表示画面は、設置状態や使用状況によって異なります。

製品名の確認のしかた

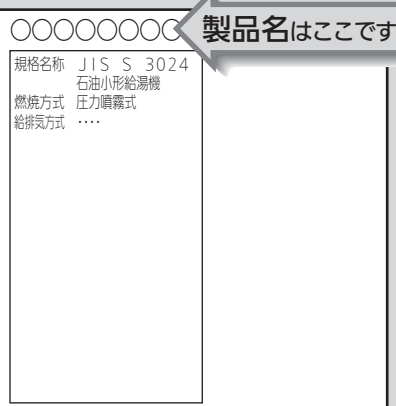
【CBX-P474Fの場合】 <銘板(例)の拡大図>



【CBX-P4704Eの場合】





製品名は機器に貼り付けてある銘板で確認できます



特に注意していただきたいこと

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

 警告 (WARNING)	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意 (CAUTION)	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。
お願い (NOTICE)	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

警告 (WARNING)

ガソリン厳禁

灯油 (JIS 1 号灯油) を必ず使用してください。ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災のおそれがあります。



ガソリン厳禁

外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時などに機器本体が養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない



禁止

不完全燃焼や一酸化炭素中毒、爆発点火の原因になります。

【CBX-P4704Eの場合】 排気筒トップの閉そく危険

排気筒が詰まったり、ふさがったままで使用しないでください。閉そくしていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。



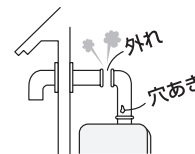
禁止

【CBX-P4704Eの場合】 排気筒外れ危険

排気筒に穴があいたり、外れたりしたままで使用しないでください。外れたり穴があいていると、運転中に排気ガスが室内に漏れて、危険です。



禁止



お客さまご自身では絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない

思わぬ事故や故障の原因になります。



分解禁止

(つづき)

⚠️注意(CAUTION)

異常時はただちに使用を中止する

異常燃焼・異常臭気を感じたときや、地震・火災などの緊急時は、次の手順に従ってください。必ず守る

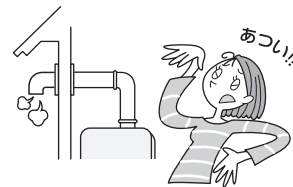
1. 給湯栓を閉める
2. 運転スイッチを「切」にする
3. 送油バルブ・給水元栓を閉める
4. 販売店または、弊社に連絡する

火災・感電・故障などの予防のため。



高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は排気口・排気筒トップやその周辺に手などふれないよう注意してください。接触禁止
やけどのおそれがあります。



油漏れやにおい、ススの発生、炎の色、故障表示を繰り返すなど、異常や故障と思われるときは使用しない



禁止

思わぬ事故の原因になります。「故障・異常かな?」と思ったら「リモコンに数字が点滅しているとき<故障表示>」に従って処置してください。

シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチを「切」にしたりしない



禁止

高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチを「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

ゴム製送油管を屋外で使用しない

油漏れにより、火災のおそれがあります。



禁止

お湯を高温に設定しているときは、高温水に直接ふれないように注意する



高温注意

やけど予防のため。

シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する



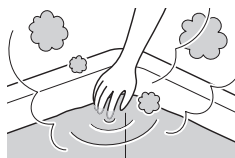
高温注意

60℃・75℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。やけど予防のため。



浴槽の湯温を手で確認してから入浴する

やけど予防のため。



太陽熱温水器との接続時の注意

太陽熱温水器と接続できますが、高温のお湯が出るなど、やけどの危険性がありますので、注意して使用してください。



高温注意

電源プラグはぬれた手でさわらない
感電の原因になります。



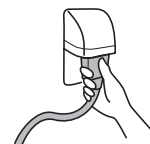
ぬれ手禁止



感電注意

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不十分だと、感電や火災の原因になります。



必ず守る

電源プラグのホコリは定期的に取り除く

ホコリがたまると、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。必ず守る



排気口のすぐ前に物を置かない

異常燃焼や火災の原因になります。



禁止

電源コード、電源プラグの破損・加工をしない
束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を載せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工をしない。



禁止

感電、ショート、火災の原因になります。

電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く

コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。



必ず守る

不良灯油(変質灯油・不純灯油)を使用しない
変質灯油(日光の当たる場所や温度の高い場所で保管して変質した灯油)や、不純灯油(灯油以外の油・水・ゴミなどが混入した灯油)などの不良灯油は使用しないでください。機器の故障の原因になります。

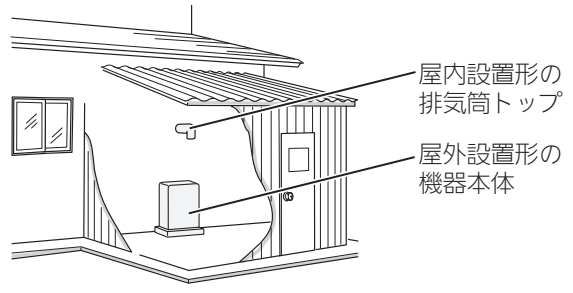


禁止

増改築などで屋内状態にしない(波板囲いなどをしない)
一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



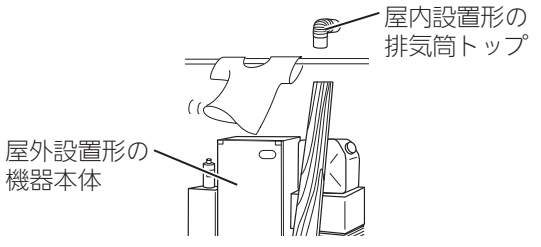
禁止



燃えやすい物を機器本体や排気口・排気筒トップのまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油など)
火災の原因になります。



禁止



子供を機器の周囲で遊ばせない
思わぬ事故の原因になります。



禁止

機器の給気口がホコリ・ゴミなどでふさがっていないか確認する
不完全燃焼の原因になります。

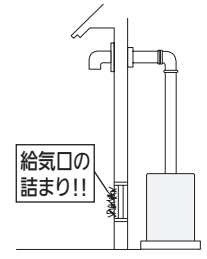


必ず守る

**【屋内設置形の場合】
建物の給気口が、ホコリ・ゴミなどでふさがっていないか確認する**
不完全燃焼の原因になります。



必ず守る



スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを機器本体や排気口のまわりに置かない、使用しない
熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。



禁止

この機器の電源はAC100V、50Hzまたは60Hz用です
他の電源で使用すると、故障・火災の原因になります。



必ず守る

オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないことを確かめる
油漏れにより、火災の原因になります。



必ず守る

ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器本体や排気口・排気筒トップのまわりで使用しない
火災の原因になります。



禁止

機器の点検・お手入れ・水抜きをする場合、運転スイッチを「切」にし、機器が冷えてからおこなう
やけど予防のため。
機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。



必ず守る

給湯、シャワー、お湯はり以外の用途には使用しない
思わぬ事故を予防するため。



禁止

長期間使用しないときは電源プラグを抜く
長期間使用しないときは、電源プラグを抜くとともに、凍結を予防するため、必要な処置をしてください。(P26~27)
火災や予想しない事故の原因になります。



電源プラグを抜く

**子供を浴室で遊ばせない
子供だけで入浴させない**
思わぬ事故の原因になります。



禁止

(つづき)

お願い(NOTICE)

雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜く(またはブレーカーを落とす)



電源プラグを抜く

ぬれた手でさわらない(感電のおそれがあります)

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



ぬれ手禁止

雷がやんだあとは電源プラグを電源コンセントに差し込み、時計を合わせてください。

※冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。



感電注意

※落雷被害に有効な火災保険へのご加入をおすすめします。

停電後や、長期不在などで電源プラグを抜いたあとは、リモコンの現在時刻を確認する

時計がリセットする場合があります。

停電すると、運転が停止します

温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。

この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

浴槽、洗面台はこまめに掃除する

水中に含まれる微量の銅イオンと、人体のあかやせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、浴槽や洗面台が青く着色することがあります。

こまめに掃除をして湯あかやせっけん成分を洗い流すことで、これを予防できます。

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

断水時は運転を停止し、給湯栓を閉める

給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

断水復帰後の使い始めのお湯は飲まない、調理に使用しない

断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管にとどまることがあります。

断水復帰後は、給湯栓から充分水を流してから使用する

台所リモコンは0℃～40℃の室温で使用する
故障の原因になります。

リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤を使用しない

変形や変色などの原因になります。

台所リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない

炊飯器、電気ポットなどに注意。
故障の原因になります。

リモコンを子供がいたずらしないよう注意する

リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

運転ランプの消灯を確認する

おやすみやお出かけになるときは、運転スイッチ「切」の状態であることを確認してください。

灯油は必ず火気・雨水・ごみ・高温・直射日光を避けた場所に保管する

灯油が変質する原因になります。

運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。

運転スイッチ「切」時にお湯側から長時間水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になる場合があります。シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

凍結による破損を予防する(P24～27)

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な対策をしてください。凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする (P26～27)

凍結および万が一の油漏れを防止するため。

積雪時には給気口・排気口・排気筒トップの点検、 除雪をする

雪により給気口・排気口・排気筒トップがふさがれると、機器の故障の原因になります。

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然していると、機器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

スス取り剤を使用しない

スス取り剤を使用すると、熱交換器などの損傷を起こす場合がありますので、絶対に使用しないでください。

排気ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシなどや、 物置などの塗装品などに当たらないように設置する 増改築時も同様に注意する

ガラスが割れたり、変色したり、塗装がはがれたりする原因になります。

塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要 な空間を確保し、空気の流れが停滞しないよう に考慮する

塀などと機器との間に十分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。

(機器の修理・点検に必要な空間については、販売店または、弊社に確認してください)

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

業務用の用途では使用しない

この製品は家庭用ですので、業務用の用途で使用すると製品の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

使用前の準備

●初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

⚠注意	⊘ 排気口・排気筒トップのすぐ前に物を置かない 異常燃焼や火災の原因になります。
⚠注意	⊘ 燃えやすい物を機器本体や排気口・排気筒トップのまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油など) 火災の原因になります。
⚠注意	❗ オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないことを確かめる 油漏れにより、火災の原因になります。

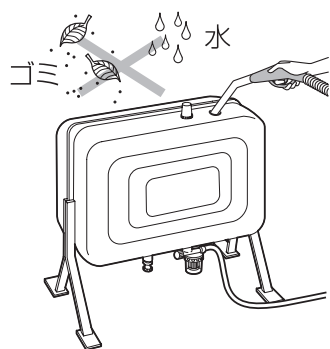
燃料

⚠警告	⊘ ガソリン厳禁 灯油(JIS 1号灯油)を必ず使用してください。ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災のおそれがあります。
⚠注意	⊘ 不良灯油(変質灯油・不純灯油)を使用しない 変質灯油(日光の当たる場所や温度の高い場所で保管して変質した灯油)や、不純灯油(灯油以外の油・水・ゴミなどが混入した灯油)などの不良灯油は使用しないでください。機器の故障の原因になります。

給油

● 給油の際の注意

- 必ず運転スイッチを「切」にしてからおこなってください。
- 水やゴミなどが入らないよう、特に注意してください。
- 給油が終わった後、給油口のふたは確実に閉めてください。
- こぼれた灯油は、よくふきとってください。



● 空気抜きの方法

オイルタンクを空にすると、送油配管内に空気が入り、次回使用するときに着火がスムーズにできなかつたり、故障表示「11」「12」が出る場合があります。以下の手順で空気抜きをおこなってください。

1. 給油後、オイルタンクの送油バルブを開く。
2. 運転スイッチを「入」にする。
3. 給湯栓(お湯側)を開けて、お湯を出す。

手順2～3の操作中、送油配管内の空気が抜けるまで機器から振動音が出ますが、異常ではありません。

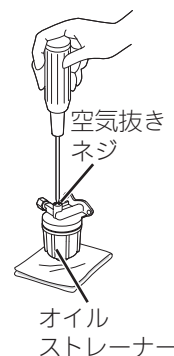
炎マークが点灯し、お湯になれば正常です

【故障表示「11」「12」が出る場合】
いったん運転スイッチを「切」にして再度「入」にし、お湯を出す

5～6回繰り返しても、故障表示が出て着火しないときは

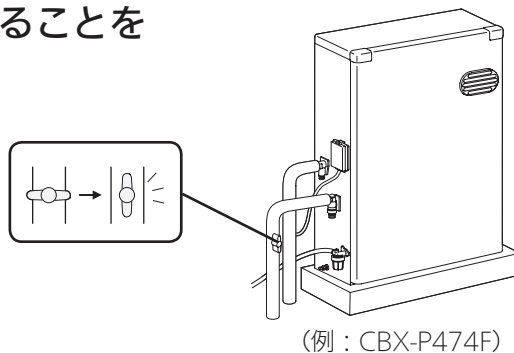
【CBX-P4704Eの場合】
機器の不具合の可能性もあるため、販売店に連絡してください。

- 【CBX-P474Fの場合】
1. 灯油が出るため、オイルストレーナーの下に布などを敷いて受ける。(オイルストレーナーの位置→P10)
 2. オイルストレーナーの空気抜きネジをゆるめる。(このとき、灯油があふれ出てきたら空気抜きが完了です。こぼれた灯油は、よく拭きとってください)
 3. 空気が抜けた後は、空気抜きネジを元の位置までしっかりと締め付ける。

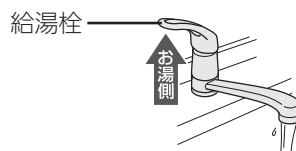


運転開始前の準備と確認

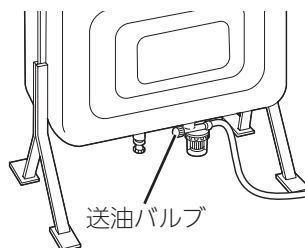
- 1** すべての水抜き栓が閉まっていることを確認し、給水元栓を全開にする
(水抜き栓の位置→P27)



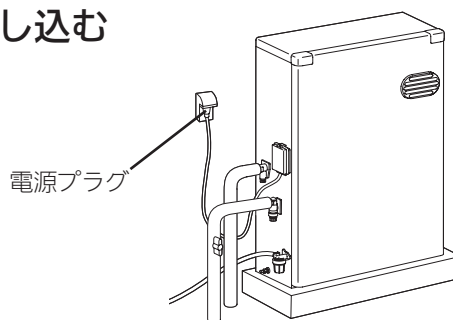
- 2** 給湯栓を開けて水が出ることを確認し、再度閉める



- 3** オイルタンクの送油バルブを全開にし、オイルタンクや送油管接合部などから油漏れがないか、確認する



- 4** 電源プラグを電源コンセントに差し込む
ぬれた手でさわらない



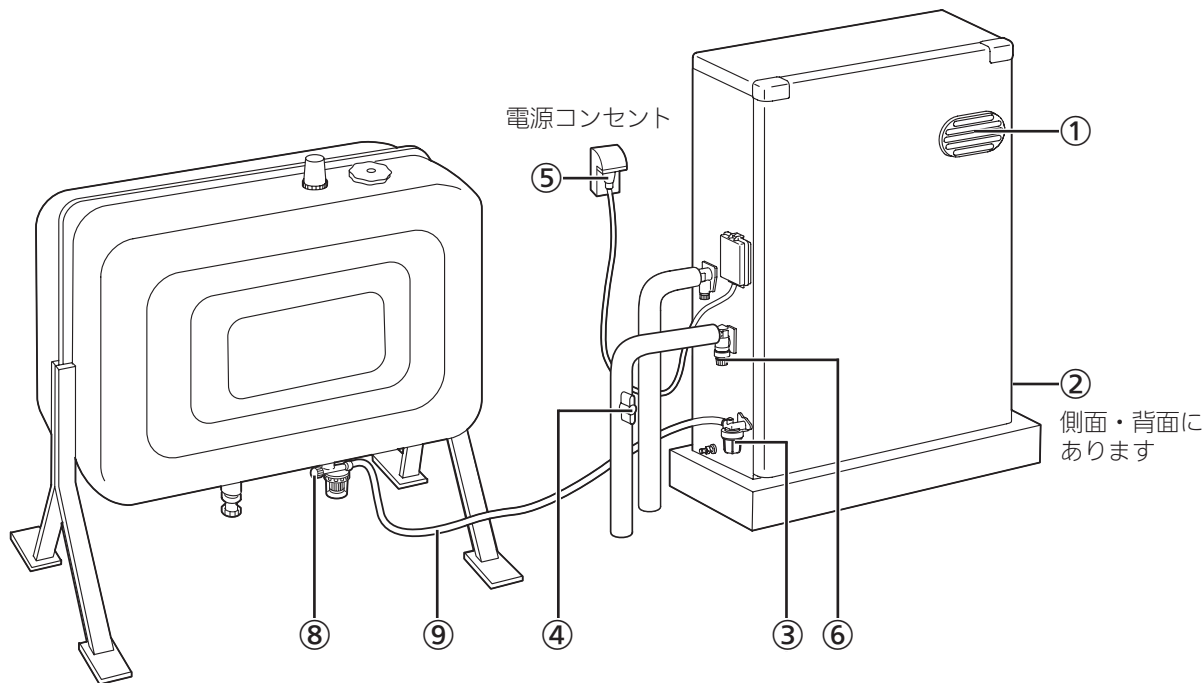
- 5** リモコンの運転スイッチを「入」にし、再度押して「切」にする

» **しくみ**
●対震自動消火装置が自動的にセットされます。

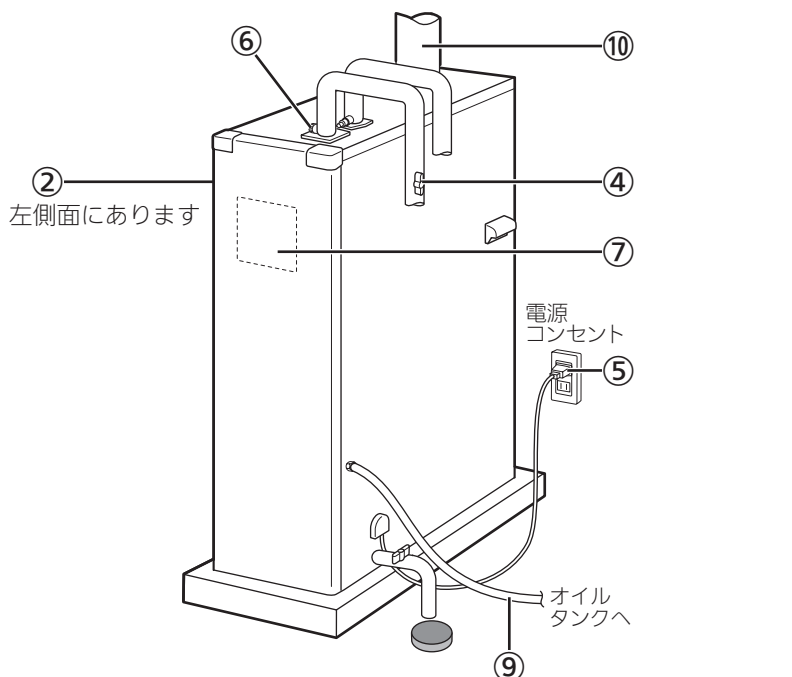
各部のなまえとはたらき(機器本体)

●イラストは施工例です。配管の形状、給水元栓・オイルタンク・電源コンセントの位置など実際と異なります。

● CBX-P474F



● CBX-P4704E



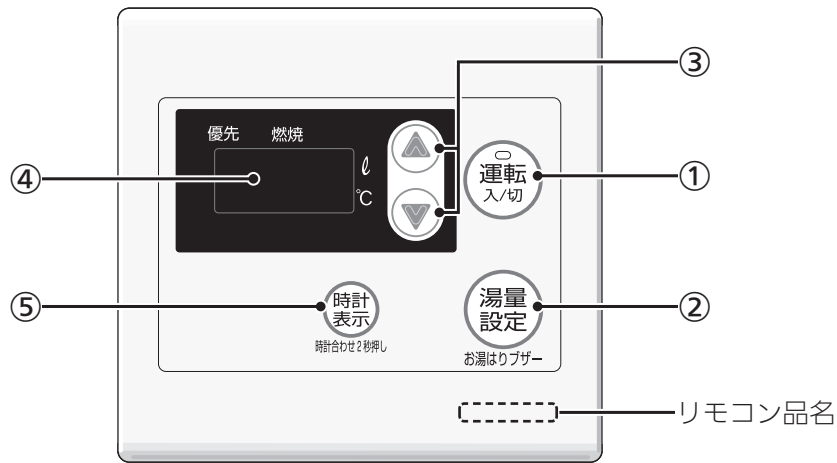
- ① 排気口
- ⑩ 排気筒
燃焼した排気ガスを出します。
- ② 給気口
燃焼用の空気を吸い込みます。
- ③ オイルストレーナー
CBX-P4704Eは機器内にあるので記載していません。
- ④ 給水元栓
- ⑤ 電源プラグ
- ⑥ 水抜き栓(フィルター付き)
- ⑦ 本体操作部
・機器に組み付けられている場合があります。
・この取扱説明書では「リモコン」として説明しています。
- ⑧ 送油バルブ
- ⑨ 送油管

各部のなまえとはたらき(リモコン)

スイッチ部

スイッチを押すと操作音が鳴ります。

● 台所リモコン リモコン品名：M-034DS



① 運転スイッチ・ランプ

運転の「入」「切」に。

② 湯量設定スイッチ

お湯はり湯量の設定に。(P20)

③ 設定スイッチ

- ・給湯やシャワーのお湯の温度の設定に。(P16)
- ・時計を合わせるとき。(P13)
- ・その他の設定を変更するとき。

④ 表示画面

⑤ 時計表示スイッチ

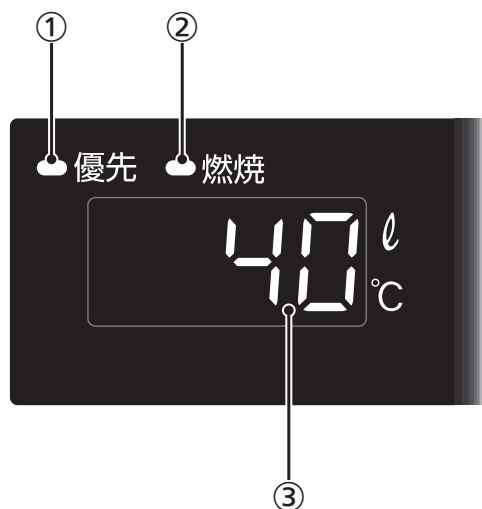
時計を表示させるとき(P14)、または時計を合わせるとき(P13)。

各部のなまえとはたらき(リモコン)(つづき)

表示画面

- 下記の表示画面は説明用です。実際は、運転の状態によって異なる表示をします。
- リモコンの節電のため、「表示の節電」機能を備えています。お湯を使わないまま、またはスイッチを押さないまま約10分たつと、表示が消えます。(運転ランプは点灯)

● 台所リモコン リモコン品名：M-034DS



① 優先ランプ(オレンジ)

このランプが点灯しているときは、お湯の温度が調節できます。(P16)

② 燃焼ランプ(赤)

給湯やお湯はりなど、燃焼中に点灯します。

③ 給湯温度表示

お湯はり湯量表示

お湯はり湯量の設定中に点滅します。

故障表示

不具合が生じたとき、故障表示をします。(P38)

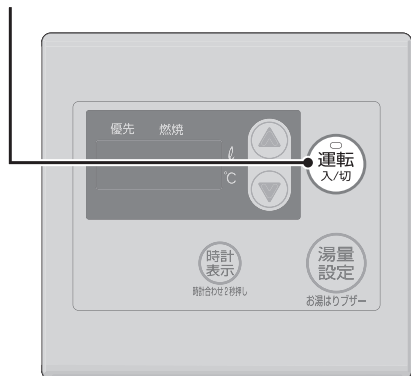
時計表示

時計表示スイッチを押すと、時計を表示します。(P14)

時計を合わせる

手順

1 運転スイッチを「切」にする



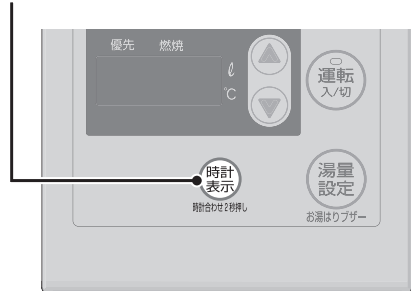
表示例



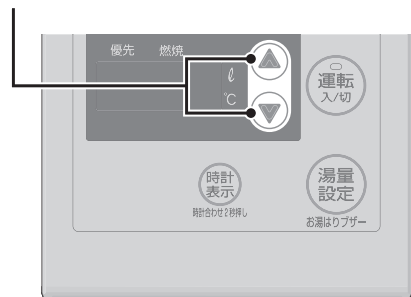
》しくみ

- 運転スイッチ「入」でも設定できます。

2 時計表示スイッチを時計表示が点滅するまで押す(約2秒)



3 設定スイッチで時計を合わせる



例：午前10時15分

》しくみ

- 一度押すごとに1分ずつ、長押しすると10分ずつ変わります。

4 時計表示スイッチを押す



約10秒間 時計表示後、元の画面に戻ります

【時計合わせ 完了】

各部のなまえとはたらき(リモコン)/時計を合わせる

時計を表示させる

手順

1 時計表示スイッチを押す



表示例：午前10時15分



》しくみ

- 運転スイッチの「入」「切」に関係なく、表示できます。
- 運転スイッチの「切」時やお湯の使用、または給湯温度が60℃・75℃のときに押すと、約10秒間時計を表示したあと元の画面に戻ります。
- 時計合わせをしていないと、「0:00」を表示します。

■ 時計表示をやめたいとき

時計表示中に、時計表示スイッチを押す

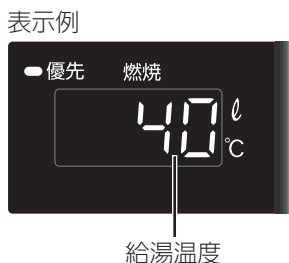
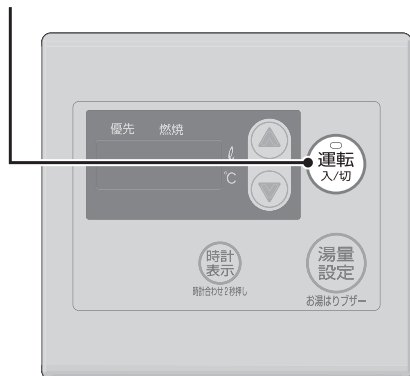
お知らせ

- 停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電して時計を表示させると「0:00」になる場合がありますので、時計を合わせ直してください。(P13)

お湯を出す

手順

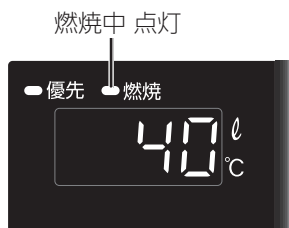
1 運転スイッチを「入」にし、給湯温度を確認する



》**しくみ**

- 運転ランプ、優先ランプ点灯。

2 給湯栓を開ける または シャワーを出す



給湯量と給湯温度の早見表

給湯温度 水温	給湯量 L/分		
	8℃<冬期>	18℃<春・秋期>	28℃<夏期>
40℃	約21.0	約30.5	(約55.5)
48℃	約17.0	約22.5	(約34.0)
60℃	約13.0	約16.0	約21.0
75℃	約10.0	約11.5	約14.0

- ()内は湯、水を混合した値です。
- ここでの給湯量は、機器から出湯できる最大量を記載しています。(実際の給湯栓から出る最大量とは異なる場合があります)

⚠注意	<p>シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する</p> <p>60℃・75℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときには特に注意してください。やけど予防のため。</p>
⚠注意	<p>シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチを「切」にしたりしない</p> <p>高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチを「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。</p>

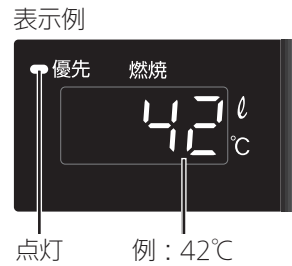
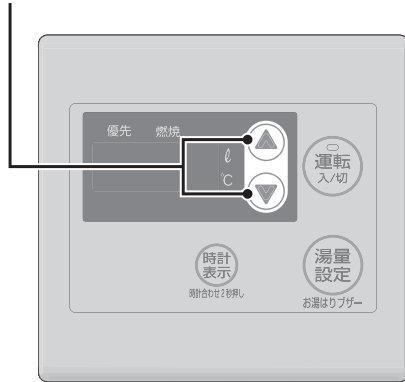
時計を表示させる

お湯を出す

お湯の温度を調節する

手順

- 1 ①優先ランプが点灯していることを確認して
②設定スイッチで調節する

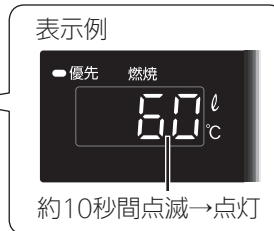


★ヒント

- サーモスタット付混合水栓の場合は、ハンドルの設定よりぬるいお湯が出る場合があります。このような場合は、リモコンの給湯温度を約10°C高めに設定してください。

お湯の温度の目安

													(°C)		
32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60	75
ぬるめ					シャワー、給湯など				給湯など				高温		
食器洗いなど															



- 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なる場合があります。
- いったん運転スイッチを「切」にし、再度「入」にした場合、前回の設定温度が75°Cのときは、安全のため60°Cになります。
- 低い給湯温度(ぬるめ、食器洗いなど)に設定した場合、水温が高いとその温度にならないことがあります。
- 表示の温度をよく確かめてから使用してください。高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。

⚠注意



シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチを「切」にしたりしない

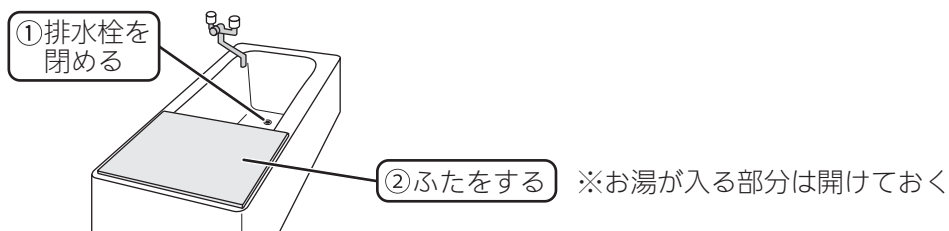
高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチを「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

* memo *

お風呂にお湯はりをする <お湯はりブザー>

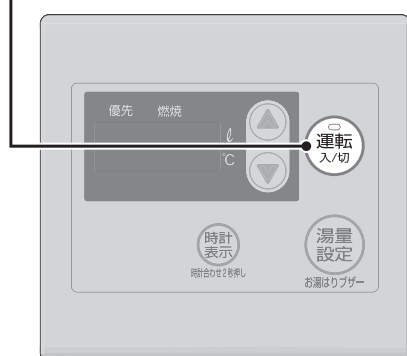
- 設定した湯量をお湯はりすると、ブザーが鳴ってお知らせします。(お湯は自動的には止まりません)

準備

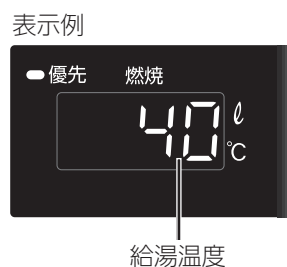


手順

1 ① 運転スイッチを「入」にして



② 給湯温度を確認する



》しくみ

- 運転ランプ、優先ランプ点灯。

▶ 参照

- 給湯温度調節(P16)
- お湯はり湯量調節(P20)

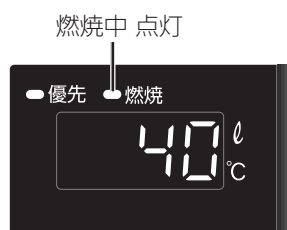
2 給湯栓を開ける



★ ヒント

- サーモスタット付混合水栓の場合は、水栓側の温度設定を最高温度にしてお湯はりしてください。中間の位置で使用すると、水が混ざるため浴槽からお湯があふれたり、ぬるくなる場合があります。

【お湯はり 開始】





設定した量が入ると
【ブザーでお知らせ】



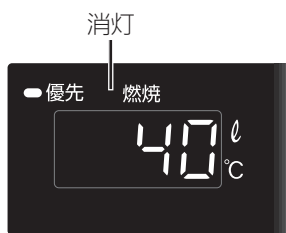
》 **しくみ**

●お湯はり湯量を「990」に設定している場合は、ブザーでお知らせしません。

★ **ヒント**

●設定した湯量程度のお湯が入ったのに、お知らせが鳴らないとき (P34「故障・異常かな?と思ったら」)

3 給湯栓を閉める



お湯はり温度 (給湯温度) の目安

°C											
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ			ふつう				あつめ				

- 60°C以上の設定もできますが、やけどのおそれがありますので、設定しないでください。
- 設定するお湯はり温度 (給湯温度) は目安です。実際の温度と設定温度は、季節や配管の長さなどの条件により異なる場合があります。

お風呂にお湯はりをすると、お湯はりブザー

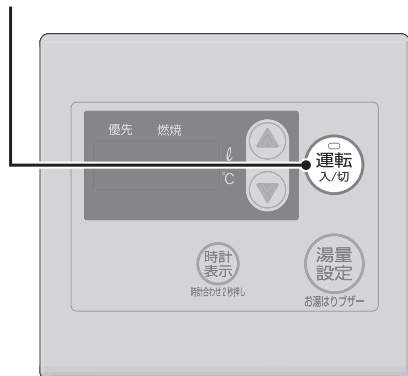
⚠️ 注意	❗ お風呂にお湯はりをするときは、リモコンに表示の温度をよく確かめる
⚠️ 注意	🚫 お湯はり中は、給湯温度を変更しない、運転スイッチを「切」にしない

お湯はり湯量を調節する

- 設定した湯量分のお湯が連続して出ると、お湯はりブザーが鳴ってお知らせします。(990Lに設定すると、お湯はりブザーは鳴りません)

手順

1 運転スイッチを「入」にする



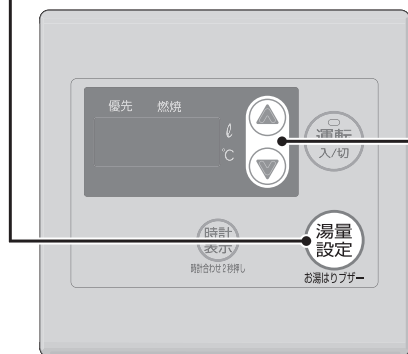
表示例



》しくみ

- 運転ランプ、優先ランプ点灯。

2 ①湯量設定スイッチを押して ②湯量表示が点滅している間に設定スイッチで調節する



お湯はり湯量 点滅

設定範囲(L)
40~260(20きざみ)、300、350、400、990(お湯はりブザーのお知らせなし)

》しくみ

- 変更した湯量は記憶します。
- 操作後約10秒たつと、元の画面に戻ります。

■ お湯はり湯量を確認したいとき

運転スイッチ「入」のときに、湯量設定スイッチを押す

》しくみ

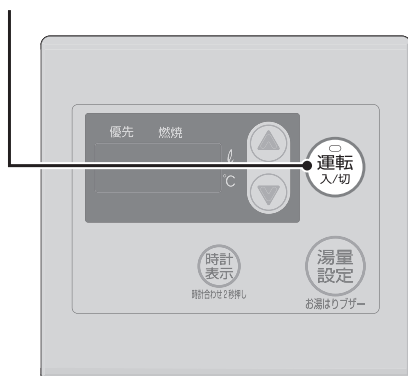
- 現在のお湯はり湯量を表示します。
- 操作後約10秒たつと、元の画面に戻ります。

* memo *

リモコン操作音を消す(鳴らす)

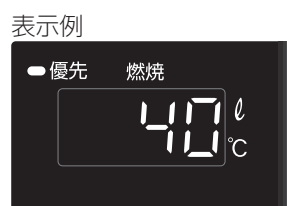
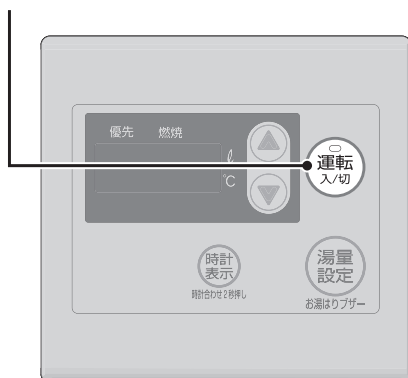
手順

1 運転スイッチを「切」にする



- 》しくみ
- 運転ランプ消灯。

2 運転スイッチを5秒以上押す



- 》しくみ
- 運転ランプ点灯。
 - 「リモコン操作音を鳴らす」設定にした場合は、変更できると「ピッ」と鳴ります。
 - 「リモコン操作音を消す」設定にした場合は、変更できても音は鳴りません。

お知らせ

- リモコン操作音を消しても、お湯はりブザー(P18)は鳴ります。

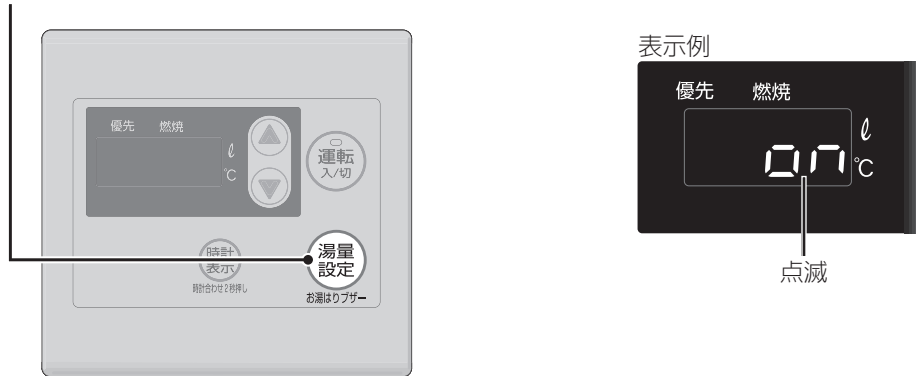
表示の節電の設定を変更する

手順

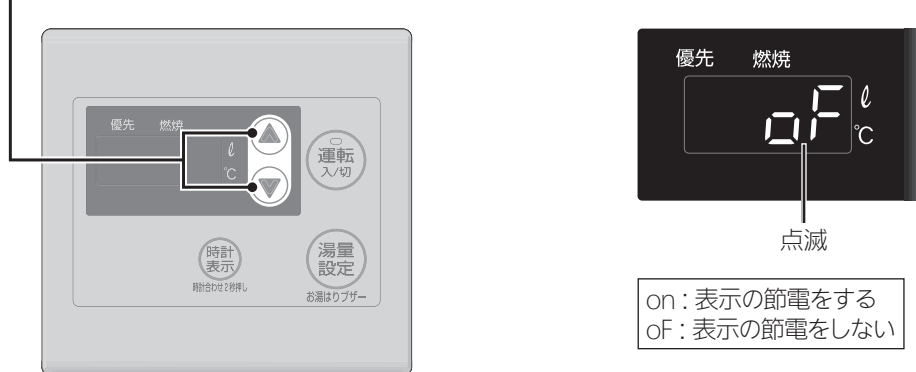
1 運転スイッチを「切」にする



2 湯量設定スイッチを長押しする(約2秒)



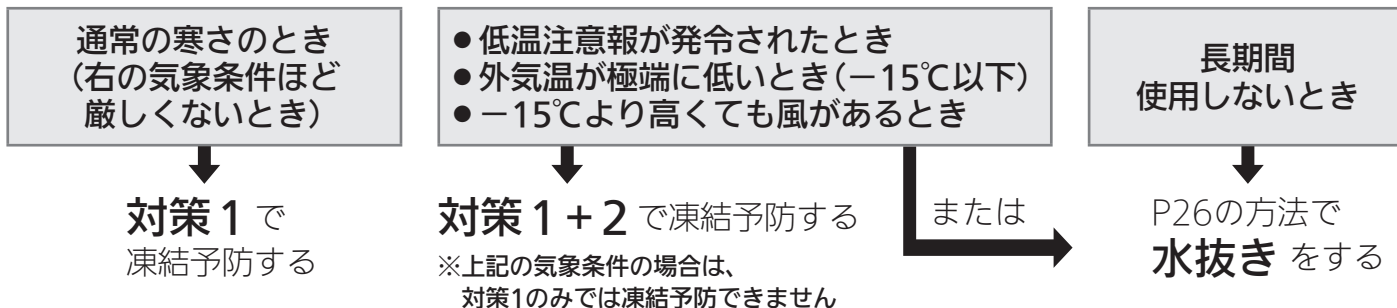
3 設定スイッチで設定を変更する



4 そのまま機器を使用する場合は、運転スイッチを「入」にする 機器を使用しない場合は、約30秒放置する

凍結による破損を予防する

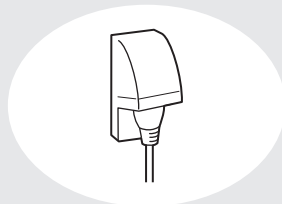
お願い	凍結による破損を予防する	<ul style="list-style-type: none"> ● 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な対策をしてください。 ● 凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。
------------	--------------	---



対策1 凍結予防ヒーターにより自動的に凍結予防 (運転スイッチ「入」「切」に関係なく、自動的に凍結予防します)

電源プラグを抜かない

電源プラグを入れておくと、凍結予防ヒーターで機器内の凍結予防をします



- CBX-P4704Eの場合は、ファンがはたらいて機器内の冷たい空気を外に出します。このとき作動音がします。
- 給水・給湯配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒーターを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください)

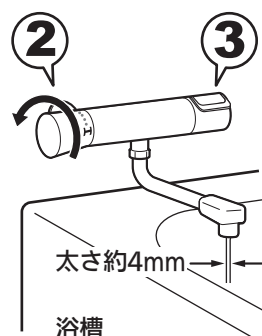
対策2 通水による凍結予防

1 運転スイッチを「切」にする

2 サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度側にする

3 おふろの給湯栓を開き、少量の水を流したままにする
少量の水とは・・・1分間に約400mL、太さ約4mm

4 約30分後、流れる量を確認する
流量が不安定になっている場合があります



- 機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。
- 結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態でも給湯栓から水を出さないようにお願いしていますが(P6)、凍結予防の処置の場合は問題ありません。
- サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。
- この処置をしても凍結するおそれのある場合には、P26の方法で水抜きをおこなってください。

凍結してお湯(水)が出ないとき

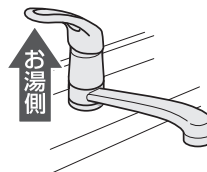
● 運転スイッチを「切」にする

- 「入」にしていると燃焼する場合があります。
- 気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめします。

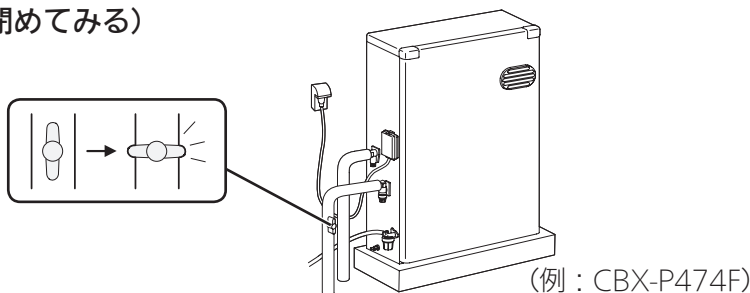
● すぐにお湯を使いたい場合は、以下の方法をお試しください

1 運転スイッチを「切」にする

2 台所などの給湯栓を少し開けておく



3 給水元栓を回してみる(閉めてみる)



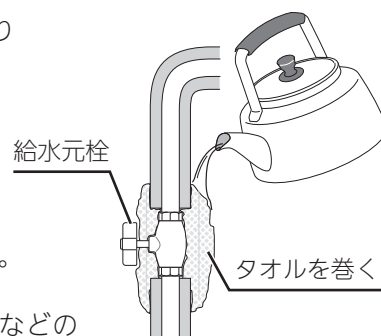
■ 給水元栓が凍結して回らない場合

- ① タオルを給水元栓のまわりに巻く。
- ② 人肌程度(30℃~40℃)のぬるま湯を給水元栓に巻いたタオルにゆっくりかける。(必要に応じて床面などがぬれないように処置をする)

注意

- 熱湯をかけると配管が破裂するおそれがあります。
- 機器の電源プラグ、コード、電源コンセントにお湯がかからないように注意してください。

- ③ 給水元栓が回る(水が流れる音がする)ようになったら、給湯栓を閉める。
- ④ タオルを外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布でふき取る。
- ⑤ 今後凍結しにくいようにするため、給水元栓まわりに保温材をかぶせるなどの処置をする。(わからないときは、販売店に確認してください)



凍結による破損を予防する

■ 給水元栓が回るのに水が出ない場合

給水元栓を必ず閉め、気温の上昇により自然に解凍するのを待つか、販売店または、弊社にご連絡ください。

お知らせ

- 凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。
機器の故障の原因となります。
- 給湯栓から水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ使用してください。

長期間使用しないとき(水抜きのみ)

注意

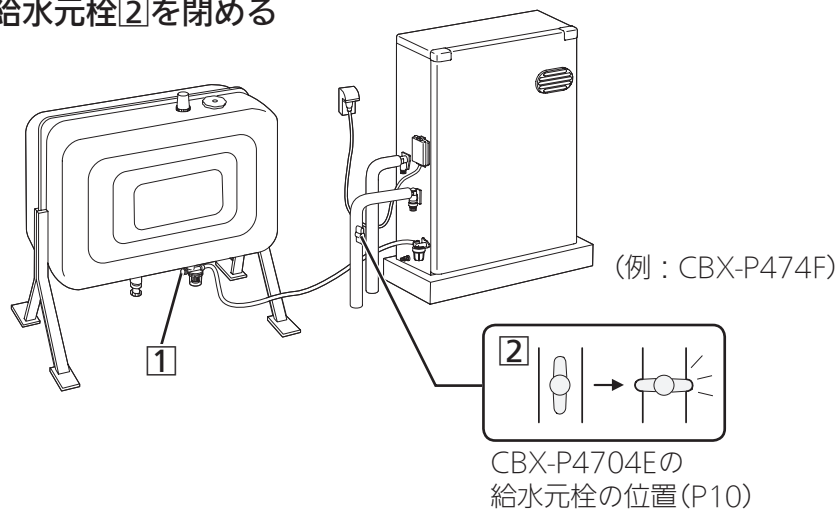
❗ 機器の水抜きをする場合、運転スイッチを「切」にし、機器が冷えてからおこなうやけど予防のため。機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。

準備

水抜き栓などからお湯(水)が約2L出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

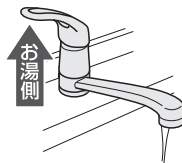
手順

1 送油バルブ①と給水元栓②を閉める



2 運転スイッチを「切」にする

3 家中のすべての給湯栓を全開にする

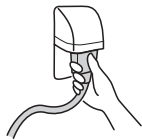


- ### 4
- ①過圧防止安全装置(水抜き栓)③・水抜き栓④(CBX-P474Fのみ)を、左に回してゆるめる
 - ②水抜き栓(フィルター付き)⑤を左に回して外す
 - ③CBX-P4704Eの場合は排水栓⑥を開ける

» **しくみ**
 ●水抜き栓から勢いよく水が飛び散る可能性があります。

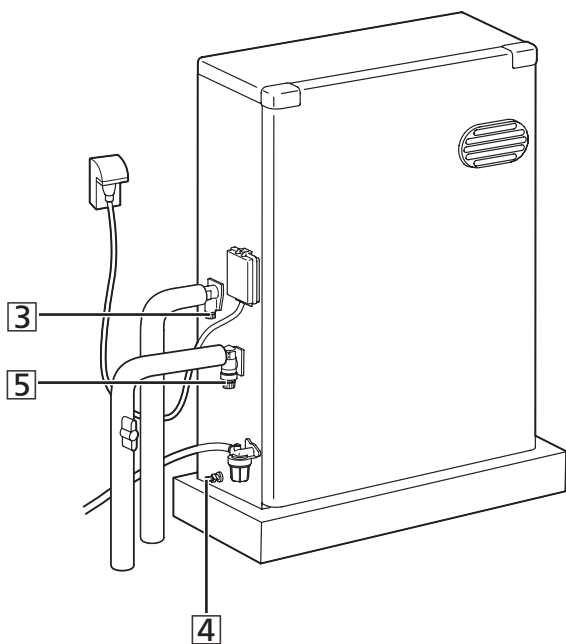
5 家中のすべての給湯栓を閉める

6 機器の電源プラグを抜く ぬれた手でさわらない

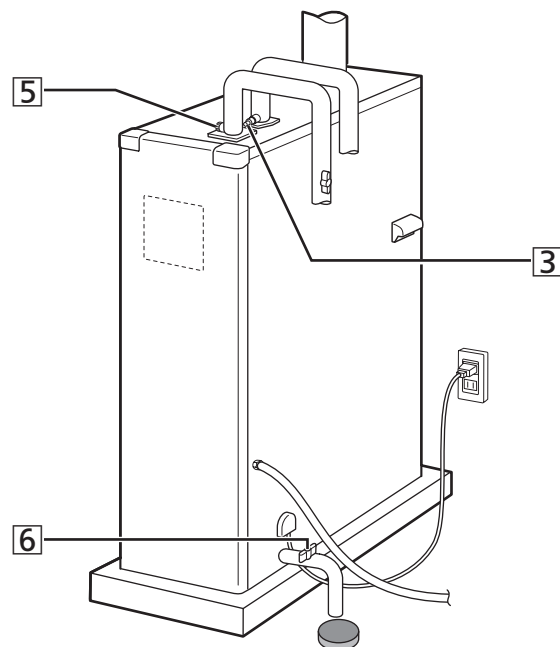


各水抜き栓は、保温材などで見えにくいことがあります。

【CBX-P474F】



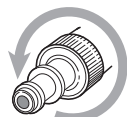
【CBX-P4704E】



過圧防止安全装置(水抜き栓)③

【CBX-P474F】

【CBX-P4704E】



水抜き栓 ④



水抜き栓(フィルター付き)⑤



水抜き後の再使用のとき

すべての水抜き栓を閉め、P9の「運転開始前の準備と確認」に従って操作してから、使用してください。

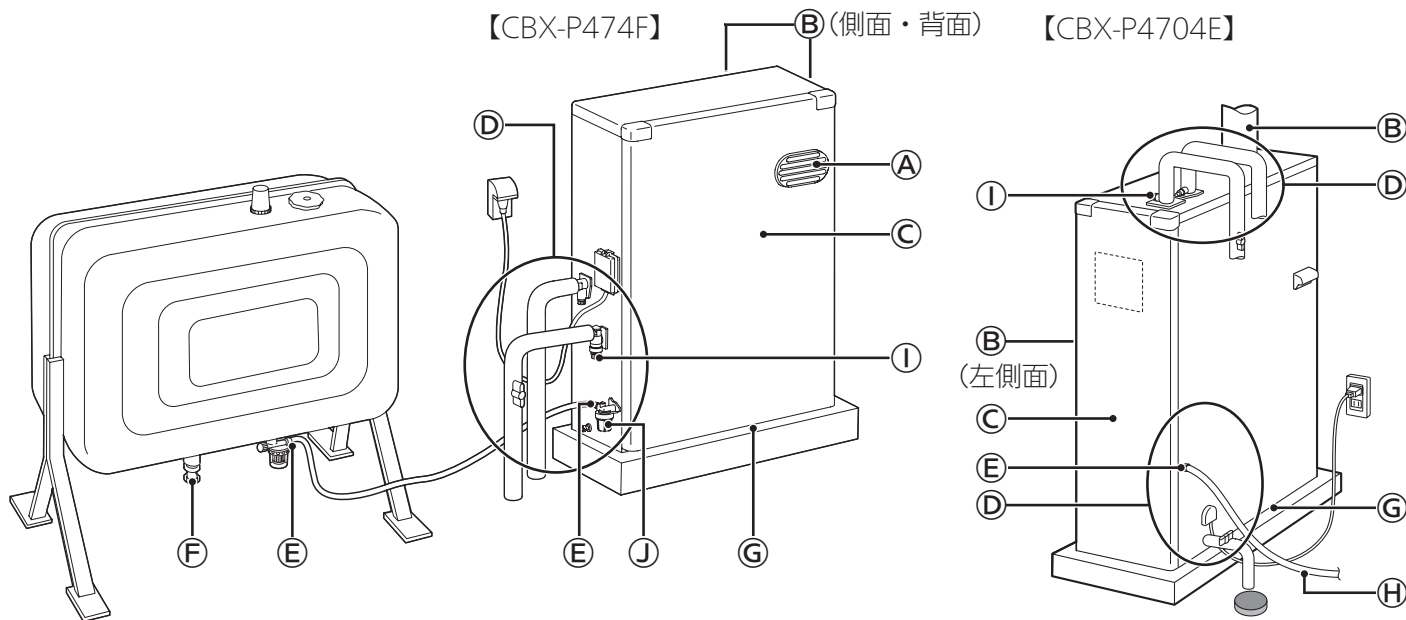
長期間使用しないとき(水抜きのしかた)

日常の点検・お手入れのしかた

●点検・お手入れは定期的におこなってください。

⚠️注意

❗ 機器の点検・お手入れをする場合、運転スイッチを「切」にし、機器が冷えてからおこなうやけど予防のため。機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。



★の処置：販売店または、弊社に連絡する。

点検

排気口・排気筒トップ・給気口がホコリなどでふさがっていないか？ →(A)(B)

ふさがっている場合は、掃除する。

点検

機器外装に異常な変色はないか？ →(C)

現象があった場合：★

点検

- 運転中に機器から異常音が聞こえないか？ →(C)
- 機器・配管から水漏れはないか？ →(D)

現象があった場合：

「故障・異常かな？と思ったら」のP37を確認する。それでもなおおかしいときは、販売店または、弊社に連絡する。

点検

機器や排気口・排気筒トップのまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？

燃えやすいものを置かない。

点検

オイルタンクや送油管の接合部などから油漏れがないか？ →(E)

油漏れがあった場合：

運転スイッチを「切」にし、オイルタンクの送油バルブを閉めてから、販売店または、弊社に連絡する。

点検

オイルタンクのドレン抜きバルブから油漏れがないか？ →(F)

【油漏れがあった場合】

①オイルタンク下部のドレン抜きバルブの下に、灯油を受け取る容器を置く。

②ドレン抜きバルブを開け、約10~20mL排水する。

③しっかりとドレン抜きバルブを閉める。(出た灯油にゴミや異物が混じっていない場合は、灯油をオイルタンクへ戻してください)

※しばらく様子を見て、それでも漏れるようであれば、販売店または、弊社にご連絡ください。

点検

機器外装の下部周辺などにサビや穴開きはないか？ →(G)

現象があった場合：★

※海に近く潮風が当たりやすい地域の場合、潮風によって、機器本体および配管接続部にサビが発生する場合があります。サビがひどい場合は、機器本体内部への影響も考えられますので、点検(有料)をおすすめします。

点検

【CBX-P4704Eの場合】

排気筒が正しく接続されているか、または穴があいていないか？ →③

現象があった場合：★

点検

【屋内設置形の場合】

建物の給気口が、ホコリ・ゴミなどでふさがっていないか？

ふさがっている場合は、掃除する。

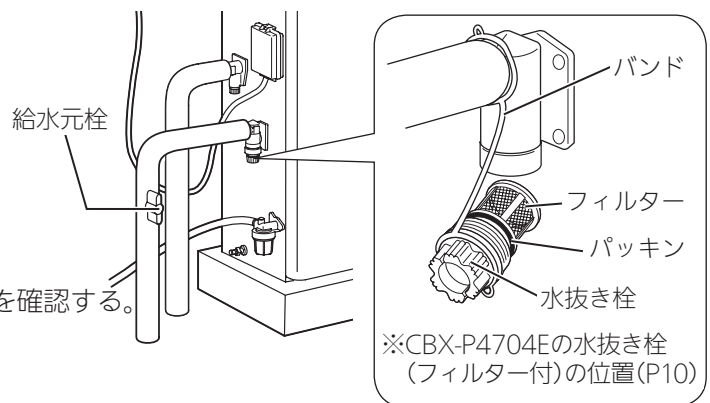
お手入れ 外装の汚れ →③

ぬれた布で落したあと充分水気をふき取ってください。
特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

お手入れ 水抜き栓のフィルター →①

水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

- ①水抜き栓から出る水(お湯)を受ける容器を準備する。
- ②機器の給水元栓を閉める。
- ③台所・洗面所など、家中のすべての給湯栓を開ける。
- ④水抜き栓を左に回して外す。※1 ※2
- ⑤水抜き栓を、配管とつながっているバンドから外す。
- ⑥フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。※3
- ⑦元どおりに水抜き栓を取り付ける。
- ⑧すべての給湯栓を閉める。
- ⑨給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。



※1 このとき水(お湯)が出るので注意してください。

※2 水抜き栓が固くて回らない場合は、コインなどを水抜き栓の切り欠きに差し込んで、回してみてください。

※3 水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターの間のパッキンをなくさないように注意してください。

点検

【屋内設置形の場合】

ゴム製送油管にひび割れや亀裂がないか？ →④
(ひび割れや亀裂が見た目上ないときは、ゴム製送油管を少し曲げて確認する)

【ひび割れや亀裂があった場合】

販売店または、弊社に交換を依頼する。

(ゴム製送油管は時間とともに劣化するため、3年に1回は交換してください)

お手入れ リモコン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布で軽くふいてください。

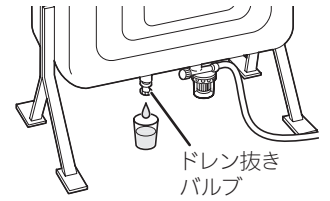
日常の点検・お手入れのしかた(つづき)

(つづき)

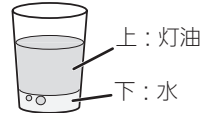
お手入れ オイルタンク →㊦

オイルタンクに水が混じると、オイルタンク内部のサビ発生や不完全燃焼の原因になるため、定期的に水抜きをしてください。

- ①オイルタンク下部のドレン抜きバルブの下に、灯油を受ける口の広い透明の容器を置く。
- ②ドレン抜きバルブをゆっくり開け、約200mL排水する。
- ③容器にたまった液体が分離していれば、灯油に水が混じっているので一度容器を空にし、再度約200mL排水する。これを、分離しなくなるまでくりかえす。
※分離していなければ、水は混ざっていません。
- ④水抜きが完了したら、ドレン抜きバルブを閉める。
出た灯油にゴミ・異物が混ざっていなければ、灯油をオイルタンクへ戻す。



<分離している状態>

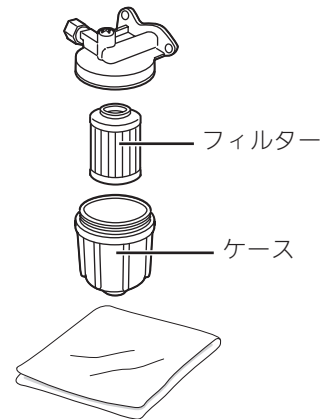


お手入れ オイルストレーナー →㊧

オイルストレーナーにゴミや水がたまるので、定期的に掃除をしてください。
※方法がわからない場合は、販売店にご相談ください。

【CBX-P474Fの場合】

- ①オイルタンクの送油バルブを閉じる。
- ②オイルストレーナーの下に、送油経路内の灯油を受ける布などを用意する。
- ③ケースを左に回して外す。
- ④フィルターを下に引き外し、灯油で洗う。
(汚れのひどいときはフィルターの交換(有料)が必要です。販売店へご連絡ください)
- ⑤元どおり取り付け。
- ⑥オイルタンクの送油バルブを開ける。
- ⑦油漏れのないことを確認する。



【CBX-P4704Eの場合】

オイルストレーナーは機器内にあるため、定期的に販売店に点検を依頼してください。

定期点検(有料)

長期間ご使用になると、機器の点検が必要です。

機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度点検を受けることをおすすめします。

点検は販売店または、修理資格者[日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2928)でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など]のいる店などにご相談ください。

部品交換のしかた

部品の交換は必ず純正部品を使用してください。また故障やおわかりにならないことがありましたら販売店に相談していただき、修理資格者[日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2928)でおこなう技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など]の修理をお受けください。

<使用方法などによっては、故障する可能性のある部品>

不良灯油(変質灯油・不純灯油)・水が混入した灯油の使用により、故障する可能性のある部品	電磁ポンプ(制御弁SET)、ノズル、オイルストレーナー
水の析出物により、故障する可能性のある部品	分配弁、水量サーボ

お買い上げいただいた製品は、消費生活用製品安全法(消安法)の長期使用製品安全点検制度で指定された特定保守製品です。

● 特定保守製品とは

「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化(経年劣化)により安全上支障が生じ、一般消費者の生命又は身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なもの(消安法第2条第4項)」として指定された製品です。

● 法定の点検期間になったら点検を受けてください

- 特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、設計標準使用期間に基づいて製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることが、製品の所有者の責務として求められています(消安法第32条の14)。本製品に表示している点検期間になりましたら、必ず点検を受けてください。(点検は有料です)
- なお、法定点検の後もご使用を継続する場合には、こまめに点検を受けることが本製品を安全にお使いいただくために必要となりますので、ご注意ください。
- 法定点検は、その時点で点検基準に適合しているかどうかの確認であって、その後の安全を担保するものではありません。

● 法定の所有者登録をしてください

- 特定保守製品の所有者は、この製品の製造(輸入)事業者が法定の所有者登録をすることが求められています(消安法第32条の8第1項)。
製品に同梱している「所有者票」に記載している《所有者情報の登録方法》に従って、ご登録をお願いします。
- ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

● 登録していただいた所有者情報に変更がありましたらご連絡ください

- 所有者情報に変更があった場合、この製品の製造(輸入)事業者に変更の連絡をすることが求められています(消安法第32条の8第2項)。
引っ越しなどで所有者情報に変更がありましたら、速やかに「所有者票」に記載している《所有者情報の登録方法》に掲げる問合せ連絡先にご連絡ください。
ご連絡いただかない場合、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせが正しく届かないことがあります。

● 法定の点検通知をいたします

- 法定の所有者登録をしていただいた方に、登録情報に基づいて点検期間の開始前に法定の点検通知をいたします(消安法第32条の12)。
- 点検期間については、製品本体の表示、もしくは製品に同梱している「所有者票(お客さま控え)」をご覧ください。

【本製品の設計標準使用期間について】

本製品は、設計標準使用期間[※]を10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

※設計標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理がおこなわれた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです(消安法第32条の3)。

「無料修理保証期間」とは異なるのでご注意ください。(無料修理保証期間は無料修理保証書を参照願います)

<設計標準使用期間の算定の根拠>

本製品の設計標準使用期間は、次のように設定しています。

- 1) 始期……製造年月
- 2) 終期……JIS S 2071の「標準使用条件」に基づいて想定した以下の使用条件にて、当社において耐久試験等をおこない、その結果算出された数値等に基づいて、「経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないこと」を確認した時期

■使用条件(給湯)

項目	条件
家族構成	4人世帯
用途	台所・洗面・シャワー・湯はり
季節	中間期(春・秋)
気温・湿度	20℃・65%
給水温度	15℃
出湯温度	40℃
1日使用量	456リットル
1日使用時間	1時間
1年使用日数	365日

※「使用条件」は、弊社における代表的な製品の条件を記載しています。
製品によっては使用条件が異なります。

<ご注意ください>

使用頻度・使用環境・設置場所が標準的な使用条件と異なる場合、または、業務用等本来の目的以外の方法で使用された場合は、本体に記載の設計標準使用期間よりも短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。これに該当するような場合は、弊社にご連絡ください。

● 点検について

法定点検は、長府工産または長府工産が委託した事業者がおこないます。

【点検お知らせ機能搭載について】

一般的な使用で10年相当使用すると、点検時期になったことをお知らせします。(P38)

【点検の内容について】

- 特定保守製品について、点検期間中に点検基準に従って実施する有料の法定点検です。
- 点検基準は消安法省令に定められており、製品区分ごとに点検項目・点検内容が定められています。
- 点検の結果は、点検結果表にてお知らせします。
- 点検の結果、不適合となった場合には可能な限りの選択肢をお知らせします。この場合、整備（修理を含む）をおこなって使用を継続するかどうかはお客さまの判断となります。

【点検の料金について】

点検料金は、お客さまにご負担いただきます。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用(有料)が発生いたします。

点検料金は技術料、出張料などを合計した金額となります。

なお、点検料金の設定の基準等や、点検要請に対して速やかに対応できるよう全国に配置しておりますサポート拠点については、下記のアドレスからご覧いただけます。

<http://www.chofukosan.com/>

インターネットでご確認できない場合は、弊社にご連絡ください。

【本製品の点検の結果必要となると見込まれる整備用部品の保有期間】

整備用部品とは、法定点検の結果、不備が認められた場合に、安全性を確保(回復)させるために必要な部品であり、補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)とは異なります。

- (1) 点火・消火装置に関する部品：製造打切後11年
点火プラグ・イグナイター・フォトICダイオード
- (2) 水・湯・燃料通路に関する部品：製造打切後11年
サーミスター・パッキン・Oリング
- (3) 安全装置に関する部品：製造打切後11年
感震器・ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ・オイルセンサー

※補修用性能部品の保有期間はP40をご覧ください。

【本製品の日常的におこなうべき点検・お手入れ】

P28~30に従って、おこなってください。

【任意の定期点検について】

P31をご覧ください。

本製品の点検等に関するお問合せ先

長府工産株式会社 お客様窓口

Tel : 0120-495-441

故障・異常かな？と思ったら

お湯・シャワー		
こんなときは	こんなことが考えられます	処置
給湯栓を開いてもお湯が出てこないお湯にならない	オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていない。	送油バルブ・給水元栓を全開に。
	断水している。	復旧を待つ。
	給湯栓が充分開いていない。	給湯栓を充分に開ける。
	灯油がなくなっている。	灯油を補充し、運転スイッチを「切」「入」する。
	水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっている。	P29
	凍結している。	P25
	運転スイッチが「切」になっている。	運転スイッチを「入」に。
	送油経路に空気が残っている。	空気抜きをする。(P8)
	夏場などの水温が高いときに、低温のお湯を少量出そうとすると、お湯になりません。	給湯温度を上げるか、給湯栓をもっと開いて使用する。
お湯が出てくるまで時間がかかる	機器から給湯栓まで距離があるためです。	異常ではありません。
低温のお湯が出ない	給水元栓が全開になっていない。	給水元栓を全開に。
	給湯温度の設定が合っていない。	P16
	夏場などの水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。	給湯栓をもっと開いて使用する。
	少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。	もう少し給湯栓を開いて使用する。
	太陽熱温水器と接続している場合、太陽熱温水器でお湯の温度が高くなるため、低温のお湯が出ない場合があります。	異常ではありません。
高温のお湯が出ない	オイルタンクの送油バルブが全開になっていない。	送油バルブを全開に。
	給湯温度の設定が合っていない。	P16
	冬期など、水温が低いときに高温のお湯を多く出そうとすると、設定した温度(高温)のお湯が出ない場合があります。	給湯栓を少し閉じて、お湯の量を少なくする。
給湯栓を絞ると水になった	給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3L以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。	異常ではありません。
お湯が白くにごって見える	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。	異常ではありません。
給湯栓から出るお湯の量が変化する	お湯を使用中に、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があります。	異常ではありません。他の場所での使用をやめると、元に戻ります。
	水道の圧力や配管条件によっては、お湯の量が変化する場合があります。また、水栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、お湯の量が変化するものがあります。	異常ではありません。

お風呂

こんなときは	こんなことが考えられます	処置
お風呂のお湯がぬるい お風呂のお湯があつい	お湯はり温度(給湯温度)の設定が合っていない。	P16
設定したお湯はり湯量より多くお湯はりされてしまう	残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴槽に残っているお湯(水)の量だけ、設定したお湯はりの湯量より多くなります。	異常ではありません。
設定したお湯はり湯量より少なくお湯はりされてしまう	お湯はり中に他の場所でお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの量が少なくなります。	異常ではありません。
設定量までお湯はりしてもお湯はりブザーが鳴らない 鳴るタイミングがずれている	お湯はり湯量を「990L」に設定している場合は、お湯はりブザーは鳴りません。	異常ではありません。
	設定した湯量分お湯が連続して出ると、お湯はりブザーが鳴るしくみになっています。お湯はり中に台所やシャワーでお湯を使うと、設定した湯量になる前にお湯はりブザーが鳴ります。	異常ではありません。
	お湯はり中に、運転スイッチをいったん「切」にし再度「入」にした場合、設定した湯量ではお湯はりブザーは鳴りません。	異常ではありません。
	サーモスタット付混合水栓の場合、水栓で水を混ぜるため、設定したお湯はり湯量より水の分だけ多いところでお湯はりブザーが鳴ります。	異常ではありません。

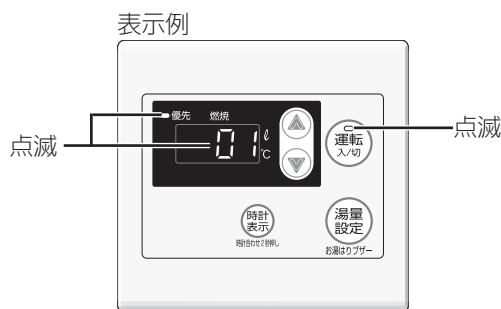
リモコンの表示や画面など		
こんなときは	こんなことが考えられます	処置
運転ランプが点灯しない	停電している。	復旧を待つ。
	電源プラグが抜けている。	電源プラグの確認を。
時計表示が「0:00」になっている	停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電して時計を表示させると「0:00」になる場合があります。	時計を合わせ直す。(P13)
停電後または電源プラグを抜いた後、給湯温度が変わってしまう	停電または電源プラグを抜いた後、再通電すると給湯設定温度がお買い上げ時の設定に変わる場合があります。	給湯温度を設定しなおす。(P16)
表示の節電の状態にならない	表示の節電をしない設定になっている。	P23
	給湯温度を60℃・75℃に設定している場合は、表示の節電はしません。	異常ではありません。
	時計表示をしているときは、表示の節電はしません。	異常ではありません。
	運転ランプが点滅して、「LL」表示が出ている。	P38
リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	リモコンの節電のため、「表示の節電」機能を備えています。お湯を使わないまま、またはスイッチを押さないまま約10分たつと画面表示が消えます。	お湯を使ったり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
リモコンのスイッチを押しても、そのスイッチの動作しないときがある	表示の節電中にスイッチを押すと、その状態を解除し、もう1回押すとそのスイッチの機能がはたります。運転「入」「切」は、ランプの点灯・消灯で確認してください。	異常ではありません。
リモコンのスイッチや表面のビニールが破れてきた、はがれてきた、浮き上がって空気が入っている	表面のビニールは保護シートです。はがさずに使用してもはがして使用してもかまいません。はがさずに使用した場合は、よく触れる部分などが破れてきたりはがれてきたりしますが、そこからリモコンに水が入って故障することはありません。	気になる場合は保護シートをはがす。
燃焼ランプが点灯したり、消灯したりする	しくみ上、断続的に燃焼と消火をくりかえすことがあります。	異常ではありません。

機器全般

こんなときは	こんなことが考えられます	処置
排気口から湯気(白い煙のよ うなもの)が出る	冬に吐く息が白く見えるように、排気ガスの水蒸気が白く見えます。	異常ではありません。
機器の水抜き栓から 水漏れしている	機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置がはたらき、過圧防止安全装置付の水抜き栓から水滴が落ちることがあります。屋内設置の機器で排水処理されていない場合は、販売店に相談してください。	異常ではありません。
運転中に停止した	オイルタンクの送油バルブ・給水元栓が全開になっていない。	送油バルブ・給水元栓を全開に。
	断水している。	復旧を待つ。
	給湯栓が充分開いていない。	給湯栓を充分に開ける。
	灯油がなくなっている。	灯油を補充し、運転スイッチを「切」「入」する。
使用していないのに音がする	【CBX-P4704Eの場合】 凍結予防のためにファンが作動する音です。	異常ではありません。
	【運転を停止しても、しばらくの間機器から音がする場合】 【運転スイッチを「入」「切」したり、給湯栓を開閉したり、機器の使用後しばらくするとクックッ、クーという音がする場合】 再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。	異常ではありません。
運転中にときどき 「カチッ」という音がする	しくみ上、音が出ます。	異常ではありません。
給湯栓を閉めたときに 「パキパキ」という音がする	熱交換器内で圧力が上がり、一時的に温度が上がるため、音がします。	異常ではありません。
水が青く見える 浴槽や洗面台が青く変色した	水中に含まれる微量の銅イオンと、人体のあかやせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、浴槽や洗面台が青く着色することがあります。	こまめに掃除をして湯あかやせっけん成分を洗い流すことで、これを予防できます。

リモコンに数字が点滅しているとき <故障表示>

●不具合が生じたとき、故障表示が点滅します。下表に応じた処置をしてください。



お客さまで対処できるもの		
故障表示	原因	処置
01	連続60分以上給湯した	①給湯栓を閉める。 ②運転スイッチを「切」にし、再度「入」にして使用する。
10	対震自動消火装置の作動	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。 (地震による場合は機器の設置場所へ行き、周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れがないか確認してから操作してください)
11 12	●燃焼制御装置の非検知 ●灯油切れの可能性がります	①運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。 ②上記操作後も表示が出る場合は、オイルタンクの残量を確認し、減っていれば給油してください。その後、再度①の操作をしてください。
16	お湯の温度が設定温度より異常に上がりすぎた	①給湯栓を閉める。 ②運転スイッチを「切」にし、再度「入」にする。 ③給湯栓をもっと開いて使用する。
LL	【別売品の給油検知装置を設置している場合】 オイルタンクへの給油お知らせ	オイルタンクへ給油して、表示が出なければ正常です。 残油量が多いのに表示が出る・残油量が少ないのに表示が出ない場合は、給油検知装置の調整をしてください。(P39)

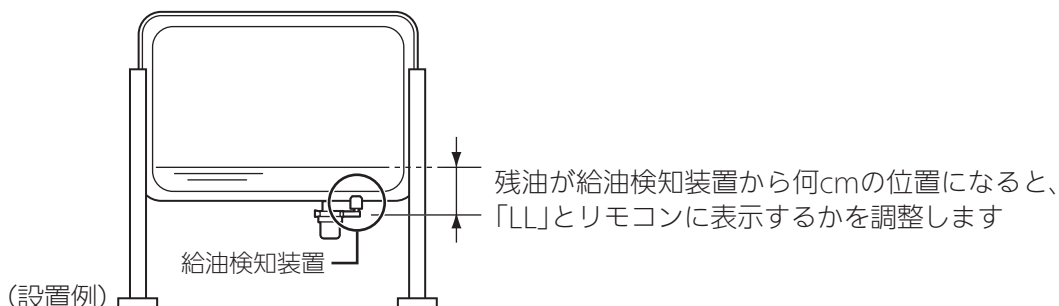
以下の場合、販売店または弊社にご連絡ください

故障表示	原因
66	水量を調節する装置に異常が生じた (しばらく使用はできますが、必ず販売店または、弊社にご連絡ください) ※ただし、お湯の出始めやお湯の量を変更したときに、設定温度よりも熱いお湯が出たり、高温のお湯が出る場合は、すぐに使用をやめ、販売店または、弊社にご連絡ください。
80	油漏れの可能性があるため (オイルタンクの送油バルブを閉めてから、販売店または、弊社にご連絡ください)
88	一般的な使用で10年相当使用されたため「点検お知らせ機能」がはたらいでお知らせ 【故障ではありません】 使用はできますが、安全のため点検(有料)を依頼してください。 販売店または、弊社にご連絡ください

- ・このページ以外の表示が出るとき
- ・上記「お客さまで対処できるもの」の処置をしてもなお表示がくりかえし出るとき
- ・その他、わからないとき

給油検知装置FC-1(別売品)の調整方法

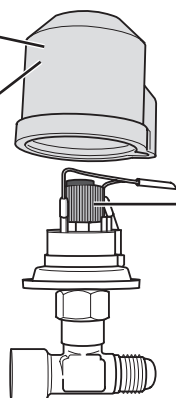
オイルタンクの送油バルブ付近に給油検知装置FC-1が付いている場合、設定した残油量になるとリモコンに「LL」表示が出て給油時期をお知らせしますが、残油量が多いのに表示が出たり、少ないのに表示が出なかったりする場合は、以下の手順で給油検知装置の調整をしてください。



①ゴムカバーを外す

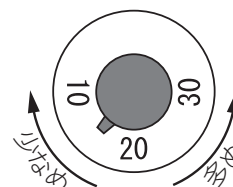
③調整後、ゴムカバーを元通り取り付ける

※給油検知装置は防水型ではありません。
ゴムカバーが確実に取り付けられていないと、雨水などが入って給油検知装置が故障する原因になります。



②調整つまみで調整する

<調整つまみを上から見た図>



初期設定=10

【残油量が多いのに お知らせ表示が出た場合】
目盛を「10」側に回す。(残油量が少なめで表示が出ます)
【残油量が少ないのに お知らせ表示が出ない場合】
目盛を「30」側に回す。(残油量が多めで表示が出ます)

※送油配管内部に空気が入っていると、お知らせ表示を出す位置がばらつくことがあります。(空気抜きの方法→P8)
※給油検知装置は傾いて取り付けられている場合がありますが、性能上、問題ありません。

サービスを依頼されるとき

P34～39の「故障・異常かな?と思ったら」「リモコンに数字が点滅しているとき<故障表示>」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、弊社にご連絡ください。

● 連絡していただきたい内容

- 製品名……………機器に貼り付けてある銘板をご覧ください
- 設置日……………保証書をご覧ください
- 異常の状況……故障表示など、できるだけくわしく
- ご住所・ご氏名・電話番号
- 訪問ご希望日

● 修理料金のしくみ

修理料金は **技術料** + **部品代** + **出張料** などで構成されています。

技術料: 診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。
部品代: 修理に使用した部品代金です。
出張料: 製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。(工事店にご相談ください)

保証について

この取扱説明書には保証書がついています。
必ず販売店・設置日などが記入されていることを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後7年です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

主な仕様

- 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

製 品 名	CBX-P474F	CBX-P4704E	
型 式 の 呼 び	CBX-P474F (OQB-4704Y)	CBX-P4704E (OQB-4704F)	
種 類	燃 焼 方 式	圧力噴霧式	
	給 排 気 方 式	屋外用開放形	屋内外用半密閉式強制排気形、屋外用開放形
	給 水 方 式	水道直結式	
	加 熱 形 態	瞬間形	
点 火 方 式	高压放電式		
使 用 燃 料	灯油(JIS1号灯油)		
燃 料 消 費 量	53.8kW(5.2L/h)		
連 続 給 湯 効 率	86.5%		
連 続 給 湯 出 力	46.5kW		
熱 交 換 器 容 量	0.8L		
使 用 圧 力	1MPa以下		
伝 熱 面 積	1.24m ²		
外 形 寸 法	高さ770mm 幅540mm 奥行250mm	高さ790mm 幅270mm 奥行575mm	
質 量	32kg	35kg	
電源電圧及び周波数	AC100V 50/60Hz		
定格消費電力	給湯使用 凍結予防ヒーター	点火時：99W/93W 燃焼時：87W/84W 94W 158W	
待機時消費電力	1.4W		
排気筒の呼び径	—	106mm	
排気温度	260℃以下		
騒音レベル	47dB(Aレンジ)		
電流ヒューズ	10A		
温度ヒューズ	缶体温度ヒューズ：221℃	缶体温度ヒューズ：221℃ 機器後面温度ヒューズ：134℃	
安全装置	対震自動消火装置、停電時安全装置、燃焼制御装置		
その他の装置	漏電安全装置、空だき安全装置、凍結予防ヒーター、排気温度検知装置、油漏れ検知装置、温度ヒューズ、過圧防止安全装置		
付 属 品	送油管、フレアニップル、転倒防止板、 台所リモコン及び取付部材	ゴム製送油管、ゴム製送油管締付バンド、 タケノコパイプセット、オイル接続管、操作部カバー、 転倒防止板、排気筒トップ、化粧カバー	

設定範囲と初期設定

項目	初期設定	設定範囲
給湯温度〈℃〉	40	32、35、37～48、60、75
お湯はり湯量〈L〉	180	40～260(20Lきざみ)、300、350、400、990(お湯はりブザーのお知らせなし)
リモコンの操作音	鳴らす	鳴らす、消す
時計表示	(未設定時) 0 : 00	

据え付け場所の選定および標準据え付け例

据え付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)」をお読みになり、販売店または、据え付け業者とよくご相談してください。また「標準据え付け例」については、工事説明書の「標準据え付け図例」をご確認ください。

騒音防止について

設置場所の選びかた次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないよう、充分配慮して設置場所を選択してください。(販売店とよく相談してください)

- 夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の使用には気を配りましょう。
- 隣家からなるべく離して設置してください。
- ブロック塀などが近くにある場合は、音が反響して大きくなる場合がありますのでご注意ください。

据え付け後の確認

据え付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据え付けられているかどうかを確認してください。

試運転

「試運転」については、工事説明書の「試運転」をご確認ください。

無料修理保証書

本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。設置日から下記保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店または、弊社に修理をご依頼ください。

お客様	ご芳名 様	
	ご住所	
販売店	店名	扱者印
	住所	
	電話番号	
設置日	平成 年 月 日	
保証対象部分	機器本体(リモコン含む)	
製品名	CBX-P474F CBX-P4704E	
保証期間	設置日より ① 熱交換器は5年 ② ①を除く電装品・バーナーは2年	

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店または、弊社が無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、弊社にご依頼の上、修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店または、弊社にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理の依頼ができない場合には、弊社にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書によらない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買い上げ後の専門業者以外による取付場所の移動、落下等による故障及び損傷。
 - 建築躯体の変形等機器本体以外に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象。
 - 火災、地震、風水害、雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電流、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・くも・昆虫類等の侵入及びその他の天災、地変による故障及び損傷。
 - 水道管の錆び等異物の流入による故障及び損傷。
 - 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障及び損傷。
 - 工事説明書に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障及び損傷。
 - 業務用(喫茶店、理美容院、飲食店、事務所等)でご使用になった場合。
 - 機器に表示してある以外の使用燃料・使用電源(電圧・周波数)でご使用になった場合。
 - 温泉水、井戸水、地下水を給水したことに起因する不具合。
 - 排水不良等による機器の冠水等に起因する不具合。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書に設置年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

■お客様へ

- この保証書をお受け取りになる時に設置日、販売店名、扱者印が記入・捺印してあることを確認してください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては、取扱説明書の「アフターサービスについて」の項をご覧ください。
- この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

長府工産株式会社

本社	山口県下関市長府東侍町1番5号	〒752-0977	TEL(083)245-5441(代)
大阪支社	大阪府茨木市春日3丁目14-17	〒567-0031	TEL(072)625-5338(代)
東北支店	宮城県仙台市青葉区愛子東6-7-47	〒989-3127	TEL(022)391-1215(代)
横浜支店	神奈川県横浜市緑区十日市場町872-19 エテルナII-2F	〒226-0025	TEL(045)989-5885(代)